

事務事業名		農林水産振興がんばる地域応援総合整備事業		所属部	農林振興部	所属課	農政課
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>		所属G	農業G	課長名	高田 浩二
	施策名	(36)農業の振興		担当者名	渡部 一雅	電話番号	0854-40-1051
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。		(内線)	2414
	基本事業名	(110)安全・安心で売れる農畜産物の生産		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	農業振興事業	
目的:対象	担い手農家・担い手以外農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産する。		項目 中事業 中事業名	がんばる地域応援総合事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 28 年度 ~ 31 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
近年の過疎・高齢化の進行による生産力低下や担い手不足、輸入農産物の増加による価格の低迷、食の安全・安心に係る消費者意識の変化など、農業を取り巻く厳しい情勢に対応するため、地域住民や農林漁業者、関係機関等が連携・協働し、地域が主体となって行う戦略的で多彩な取組等を支援する。
①農林水産戦略プラン推進対策 ②農業・農村戦略プラン推進対策 ③森林・林業戦略プラン推進対策 【ハード】1/3以内 【ソフト】1/2以内

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動)	30年度計画(30年度に計画する主な活動)				
	①地域提案戦略支援(協議会等からの事業申請により事業を実施) ②新規就農総合支援(自営就農開始支援事業) ③和牛・酪農産地再興総合支援事業	①地域提案戦略支援 ②新規就農総合支援(自営就農開始支援事業) ③和牛・酪農産地再興総合支援事業				
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	ア 事業ヒアリング	回		8	5	5
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	生産団体、新規就農者等	ア 農家戸数	戸		3,899	3,899	3,899
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
農業の生産基盤を整えることにより、農産物の販売金額を増加させる。	ア JA雲南販売額(農業・畜産)	億円		21.0	23.8	26.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
◆地域提案戦略支援事業 1件 事業費8,426千円 うち県費2,600千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
◆新規就農総合支援事業 3件 事業費15,034千円 うち県費4,942千円		県支出金	千円	9,874	8,919	7,783
◆和牛・酪農産地再興総合支援事業 1件 事業費1,377千円 うち県費1,377千円		地方債	千円			
		その他	千円			
	一般財源	千円				
	事業費計 (A)	千円		9,874	8,919	7,783
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	
		延べ業務時間	時間	237	200	
		人件費計 (B)	千円	940	815	
	トータルコスト(A)+(B)	千円		10,814	9,734	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
国、県ともに個別の農家を支援する事業はなくなり、認定農業者等の大型農家や地域が一体となって産地化を図るため協議会等への支援をする方向に向かっている。	H23年度にこれまでの「がんばる事業」が終了し、H24年度からは「新がんばる事業」として制度の見直しが行われ事業実施されている。	平成20年3月に策定された「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画」において、地域の重点プロジェクトとして位置付けられた取組を支援するための事業であり、毎年実施されるプレゼンテーションによって柔軟に事業が実施できることから、事業実施主体からの評価は高い。

事務事業名	農林水産振興がんばる地域応援総合整備事業	所属部	農林振興部	所属課	農政課
-------	----------------------	-----	-------	-----	-----

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	生産者団体等による自主的な取り組みを支援する事業であり、成果は十分に上がっている。																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	県単事業であり、雲南市として事業を廃止することはできず、事業申請があれば実施しなければならない。																						
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	他に類似する事業はなく、統廃合できない。																								
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	適切な事業費であり、削減の余地はない。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	それぞれの協議会を育成していくため支援が必要であり、削減の余地はない。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	事業目的を明確にして募集されたものであり、受益機会は公平に確保されている。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																									
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			② 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
地域の重点プロジェクトとして①エコロジー米の生産拡大 ②園芸(水耕、果樹、唐辛子など)の振興 ③産直の販路拡大 ④自立する集落営農組織づくり ⑤奥出雲和牛産地づくりの5本の柱を掲げて取り組みを開始しており、今後も引き続き、島根県と一体となって生産基盤の充実と販路の拡大に向けた取り組みを推進していく。			廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																							

3 今後の方向性【PLAN】